

## 令和2年度第3次入間市地域福祉計画進行管理報告書

### 1 はじめに

入間市では、地域福祉を推進するため令和元年度から「第3次入間市地域福祉計画」がスタートしました。本計画では、すべての市民が共に支え合いながら自立した生活を送ることができるよう、計画の柱として、「住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉サービスをめざそう」、「一人ひとりのふれあいを大切にしよう」、「みんなで福祉を支える地域をつくろう」の3つを掲げています。計画に基づく地域福祉の取組みについて、見直しや改善ができるよう進行管理・評価を行い、令和2年度における地域福祉計画の進捗状況について報告いたします。

### 2 住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉サービスをめざそう <公助>

令和2年度に児童発達支援センター「ういず」を開設しました。これは、心身の発達に遅れ又は障害のある児童とその家族が身近な地域で安心して暮らし、発達の段階に応じた切れ目ない支援を実現するため、相談支援、児童発達支援、地域支援の3つを一体的に行えるセンターです。これまでになかった単独通所クラスを設け、定員を拡大するとともに、保育所等訪問支援、日中一時支援、気軽に相談できる体制づくりとして時間外や休日相談の取組みを実施しています。

子育て世代包括支援センター「いるティーきっず」による子どもに関する総合相談は、令和2年4月より保健師や助産師による妊娠・出産に関する相談・情報提供や、利用者支援専門員による子育て支援サービス・保育施設等の情報提供を行い関係機関に支援をつなぐ「子育て世代包括支援センターとよおか」と家庭児童相談員が子育てや家庭内の問題（育児や家庭、学校、子どもの虐待等の悩み）について相談に応じる「家庭児童相談室」の機能を一体化し、児童福祉法上の「子ども家庭総合支援拠点」に位置付けました。妊産婦から子育て世代まで、幅広く相談支援を実施しています。

生活困窮者への自立支援相談は、コロナ禍により相談者数・支援回数が約30%増加しましたが、年度途中に相談支援員を増員するなどの体制強化が不十分でした。今後も、社会経済活動の低迷が続き「生活困窮」や「貧困」に関する相談が増加していく傾向が続くと考えられます。国の負担金補助金事業を活用して、相談体制の強化に取り組むよう

望みます。

また、引き続き入間市社会福祉協議会による福祉困りごと何でも相談、障害者基幹相談支援センターによる相談支援事業者に対しての専門的な指導・助言等の各種相談事業を展開し、地域において生活課題の解決を行う地域ささえあい組織に対し財政的支援を実施する等、相談支援体制の強化に努めるよう望みます。

令和元年度に開始した「法人後見事業」では、認知症等により判断能力が十分でない方の権利擁護を推進するために、養成した市民後見人の活用を図りながら、成年後見制度利用促進法に基づく取組みが行われています。令和2年度は、32件（新規）の相談を受け、内3件の後見等を受任しました。今後も権利擁護の基幹となる事業として充実を期待します。

避難行動要支援者の安全確保のため、令和2年度に「避難行動要支援者名簿取扱マニュアル」を改訂し、新たに「個別避難支援計画書」を作成しました。これは、災害が発生した場合の避難支援が遅滞なく行われるよう、同意者名簿を提供された自主防災会が、他の地域支援者と協力の上、要支援者宅を訪問し、避難行動のために必要な支援の内容（避難支援者、普段の居場所や緊急連絡先、危険な状態を知らせる方法や避難所までの移動方法等）を本人及び家族関係者と確認して個人単位でまとめた計画書です。避難行動要支援者名簿は、登録時と現況が変化している場合があるため、登録内容の更新が必要と考えます。また、本人からの届出方式のため支援が必要な人が必ずしも名簿に記載されてない場合があり、今後、庁内連携を深め自主防災会等の地域支援者に協力を依頼し、登録や支援に繋げていく必要があります。

市長公約である「介護者の社会的孤立を防ぐケアラー（※1）支援」は、ケアラーとなる対象が幅広いため、実態を把握した上で、どのような施策を展開するのか全庁的な検討体制を構築する必要があると考えます。特にヤングケアラー（若年ケアラー）への支援体制や支援策についての対応は重要であり、今後の協議に期待します。

※1 ケアラー

介護等が必要な人をケア（世話）をしている人のこと。ヤングケアラーは、祖父母や兄弟等の世話をしている18歳未満の子どものこと。

地域住民の課題が複雑化・複合化しており、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では、狭間のニーズへの対応が困難になっています。課題を抱える相談者やその世帯へ包括的な支援を行うため、公民館の地区センター化に合わせ「福祉総合相談支援窓口」の設置に向けた協議が進められています。窓口の運営が順調である自治体は、多くの職員を配置しています。入間市でも人員を十分に配置し、相談者に寄り添いながら伴走していく支援（※2）やアウトリーチ（※3）を通じた支援体制の構築を期待しています。

※2 伴走していく支援（伴走型支援）

一度のサービスで終わりではなく、寄り添いながら、継続的に関わり見守っていく支援のこと

※3 アウトリーチ

手上げ方式ではなく、支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、支援を行う側から情報・支援を届けること

### 3 一人ひとりのふれあいを大切にしよう <互助>

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動について中止又は縮小を余儀なくされました。しかし、感染症対策を講じながら「コミュニティ活動組織の再認識」に繋がる活動として、「いるま市声かけ運動」が行われました。直接的な「声かけ」はできませんでしたが、チラシ、リーフレット、ポスター等を作成し、公共施設等への掲示や各自治会への配付を行い、運動の周知を図りました。

地域支え合い組織については、福祉圏域単位において4か所、自治会を単位とした組織として4か所で活動が行われています。9つある福祉圏域全域において支え合い組織を設置することを目標に、未設置地区においても住民が組織の必要性について理解を深められるよう促すなど地域福祉コーディネーターが設置に向けた支援を行っているところです。

そのほか、感染症対策を実施した上で開催されたサロン活動等に参加することにより、住民同士の情報交換・交流の場が継続しています。これらの交流を通じて、それぞれが

抱える生活課題について、互いに協力し、解決し合う「互助」に繋がることが期待されます。今後も感染症対策等を踏まえながら、より多様な方が地域活動に参加できるような取組みが必要です。

世代間交流については、感染症対策のため交流会が中止となりましたが、福祉教育として、福祉体験授業や車いすバスケットボールチームを招いた福祉教育講演会とゲーム体験、認知症サポーター養成講座等が開催されました。今後も多様性を認め合いながら、共生の意識を育くむため福祉教育の充実に期待します。

声かけ運動や地域支え合い活動等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止または縮小を余儀なくされましたが、こうした取組みは福祉を通じた地域コミュニティ活動の活性化にも繋がるため、新しい生活様式を踏まえ、継続的な実施を期待します。

#### **4 みんなで福祉を支える地域をつくろう <自助、互助>**

地域活動の担い手不足が課題となっています。しかし、中には担い手として活動したいと考えている住民もおり、参加するきっかけづくりや後押しをするための養成講座を実施して支援していく必要があります。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域課題について話し合う地域福祉懇談会や多くのボランティア講座は中止になりましたが、運転ボランティア研修やはじめての手話講座、Z o o mによる近隣助け合い推進協議会役員及び社会福祉協議会職員研修会を開催し、地域福祉の担い手の発掘やリーダー・職員のレベルアップに取り組みました。

自殺・虐待に関しては、令和2年度において、自殺者17人、虐待通報として、高齢者47件、子ども220件、障害者5件が報告されています。その防止や支援、ケアについては主に行政や施設等の事業者により行われていますが、地域において住民同士のコミュニケーションを活発に行うこと等により、未然防止に繋がることも考えられます。そのためにも、みんなで支え合える地域づくりの推進を期待します。

外国人市民に対しては、相談対応を相談員3人（英語、スペイン語、中国語）で行っており、相談窓口130日開設、267人が相談に訪れました。令和2年度から英語相談のみ通常の相談日のほか、月2日予約制にて開設しました。なお、相談日以外の日は、61言語に対応のポケットク（※4）を3台購入し、対応しています。入間市国際交流協会

の日本語教室はスタッフの高齢化や減少が課題になっていましたが、募集により3人のスタッフが増員されました。教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりましたが、今後、地域における外国人市民の活躍の場の創出のためにも両事業の充実を望みます。

※4 ポケトーク

ボタンを押しながら話すだけで、高性能なAI翻訳で英語、中国語など多くの言語をリアルタイムで音声とテキストに翻訳できる翻訳機

住民主体の地域をつくるためには、市や社会福祉協議会と一緒に地域活動へ参加するきっかけづくりを行い、担い手確保等の課題解決を支援していくことが重要であると考えます。

以上、令和2年度の入間市地域福祉計画に基づく進捗状況を考察しました。今後も引き続きプランの基本理念「助け合う住民 支え合う地域 優しさあふれるまち」の実現を目指して邁進されることを期待しています。

令和3年9月15日

入間市地域福祉計画進行管理委員会